

# 「指導と評価の一体化」のための

## 学習評価に関する参考資料（小学校 社会）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

○掲載項目（事例2） ※本事例は二つの単元からなる「内容のまとめり」を通して評価を行っています。

- 1 単元の目標
- 2 単元の評価規準
- 3 指導と評価の計画
- 4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について（事例における評価規準、評価場面例）
  - ①「主体的に問題解決しようとする態度」
  - ②「より良い社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」

### ○活用ガイドのポイント

- ・観点別学習状況評価の進め方を詳しく解説
- ・事例における学習指導と学習評価の繋がりを詳しく解説
- ・内容のまとめりや単元全体を見通した評価の例を詳しく解説
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の評価場面例について解説

掲載事例以外の単元でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

# 小学校 社会科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P52～61

社会科 事例2  
キーワード 「内容のまとめり」ごとに長期的な視点で行う評価/「主体的に学習に取り組む態度」の評価

単元名  
単元1「火災から人々の安全を守る」  
単元2「事故や事件から人々の安全を守る」

内容のまとめり  
第3学年  
内容(3)「地域の安全を守る働き」

## I 指導と評価の計画

### (1) 単元1「火災から人々の安全を守る」の計画(7時間)

#### ①単元の目標

火災から地域の安全を守る働きについて、消防署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、消防署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

## ②単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①消防施設・消防設備などの配置，緊急時への備えや対応などについて，消防署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，消防署などの関係機関は，地域の安全を守るために，相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや，関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>①消防施設・消防設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，問いを見だし，関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり，関連付けたりして消防署などの関係機関の相互の関連を考えたり，関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて，従事する人々の働きを考え，表現している。</p>	<p>①火災から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立てたり，学習を振り返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。</p>

※語尾は「…しようとしている」とします。

○観点ごとの評価規準を作成する際は、学習指導要領に示す「2 内容」の各観点に関わる事項に示された記述を当てはめ、語尾を「…すること」から「…している」とします。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、学習指導要領に示す「2 内容」に「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項が示されていないことから、学年目標や観点の趣旨を基に評価規準を設定します。

### ③指導と評価の計画(全7時間)

学習問題をつかむ場面で、その後の指導に生かすために「予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価しています。

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時間	ねらい・学習活動	評価規準(評価方法)
1	地域の安全な暮らしを守る働きについて、学習問題を作ることができるようにする。	○ノートの記述や発言の内容から「地域の安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する【思①】
2	火事から地域の安全を守るための働きについて単元の学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。	○ノートの記述や発言の内容から「火災の際に安全を真持つための関係機関や人々の働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する【思①】 ○活動の様子やノートの記述から「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習鋭角を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態①】
3	消防署の人たちがどのような働きをしているか理解できるようにする。	○見字カードやノートの記述内容から「緊急時への備えや対応などについて、消防署を見学・調査し、必要な情報を集め、読み取り、消防署は緊急時に対処する体制を取っている。【知①】
4	火事が起きたときの関係機関の働きを理解できるようにする。	○ノートの記述内容や発言内容から「緊急時への対応などについて、通信指令室の働きを基に必要な情報を集め、読み取り、関係機関は火災の時、緊急時に対処する体制をとっていることを理解する【知①】
5	身近な消防施設の働きについて理解できるようにする。	○ノートの記述内容や発言内容から「消防施設・消防整備などの配置などについて。地域の消防施設の分布や働きをもとに必要な情報を集め、読み取り、関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。【知①】
6	火災発生時や、火災予防のための関係機関と地域の人々の諸活動について考えることができるようにする。	○ノートの記述内容や発言内容から「地域の消火・防火についての取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する【思①】
7	火事から安全を守る人々の働きについてまとめることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">この単元では評価したことを記録に残す場面はここ! (「知識・技能」と「思考・判断・表現」のみ)</div>	○ノートや関係図の記述内容から「消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解しているか」と評価する【知②】 ○ノートや関係図の記述内容から「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考えたりして表現しているか」を評価する【思②】

学習問題をつかむ

学習問題を追究する

まとめる

## (2) 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」の計画(8時間)

### ①単元の目標

事故や事件から地域の安全を守る働きについて、警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、警察署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域の安全を守るために地域社会の一員として自分たちができることを考えようとする態度を養う。

### ②単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、警察署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>①警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>②連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして警察署などの関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けて、従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。</p>

学習指導要領では、「3 内容の取扱い(3)ア」で「『緊急時に対処する体制をとっていること』と『防止に努めていること』については、火災と事故はいずれも取り上げること。その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫すること」とあります。

⇒この事例では、調べる段階では「緊急時に対処する体制をとっていること」については消防に、「防止に努めていること」については警察に重点を置いています。

### ③指導と評価の計画(全8時間)

単元1(消防)の学習を振り返り,それを踏まえて学習問題について予想をもったり学習計画を立てたりする姿を評価します。(記録に残す評価)

※網掛けは,評価したことを記録に残す場面

時間	ねらい・学習活動	評価規準(評価方法)
1	火災の学習を振り返り、事故や事件から地域の安全を守るための働きについて学習問題を作り、学習計画を立てることができるようにする。	○ノートの記述や発言内容から「安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【思①】 ○発言の内容やノートの記述から「単元1の追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【熊①】
2	警察がどのような仕事をしているか理解できるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「警察署を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、警察の諸活動を理解しているか」を評価する。【知①】
3	事故が起きた時の関係機関の働きを理解できるようにする	○見学カードやノートの記述内容から「通信指令室の働きを基に必要な情報を集め、読み取り関係機関は事故の際、緊急時に対処する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。【知①】
4	地域の安全を守る施設や活動について理解できるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「安全を守るための施設・設備について、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々は事故や事件を防止する体制をとっていることを理解しているか」を評価する。【知①】
5	地域の安全を守るための関係機関や地域の人々の諸活動について考えることができるようにする。	○見学カードやノートの記述内容から「地域の事故や事件を防止する取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する。【思①】
6	事故や事件から安全を守る人々の働きについてまとめることができるようにする	○ノートの記述内容から「調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解しているか」を評価する。【知②】
7	消防と警察を比べ、安全を守る仕事に就いてまとめることができると共に、二つの単元の学習を振り返り、さらに調べるべきことを見いだすことができるようにする。	○発言の内容やノートの記述内容から「消防と警察のそれぞれの関係機関の働きを比較・分類したりして、関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けてまちの安全を守る仕事に従事する人々に共通する働きを考えたりして表現しているか」を評価する。【思②】 ○発言内容やノートの記述内容から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。【熊①】
8	地域の安全を守るために、自分たちができることを考えようとする態度を養う。	○発言内容やノートの記述内容から「連携・協力している県警機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり洗濯・判断したりして表現しているか」を評価する。【思②】 ○安全宣言の記述内容から「学習したことを基に完全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。【熊②】

学習問題をつかむ

学習問題を追究する

まとめる

単元2の終末では,二つの単元を関連付けながら,法やきまりの大切さや地域の安全を守る諸活動を振り返り,地域の安全のために自分たちに何ができるかを考えようとしているかを評価しています。(記録に残す評価)

# 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

## ① 主体的に問題解決しようとする態度

学習問題について予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして学習問題を追究し、解決しようとしている態度を評価する。学習問題の解決に粘り強く取り組む側面や自らの学習を調整する側面を評価する。

## ② より良い社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度

学習したことを基によりよい社会の実現のために自分たちができることを考えたり選択・判断したりしようとする態度を評価する。

# 本事例における「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準

(内容のまとめりごとの評価規準)

主体的に学習に取り組む態度
地域の安全を守る働きについて主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。



(単元の評価規準) **単元2**

主体的に学習に取り組む態度
①地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。

①については単元1の学習を振り返り、それを踏まえて学習問題について予想をもったり学習計画を立てたりする姿を評価します。  
また、②については二つの単元を関連付けながら、地域の安全のために自分たちに何ができるかを考えようとしているかを評価します。

## 主体的に問題解決しようとする態度の評価場面例①（単元1の2/7時間目）

### ① 予想や学習計画を立てる。

単元導入時に、児童が学習問題をつかむ際、問題解決に向けて、予想を立てたり、解決までの見通しをもったりする場面の評価事例である。本事例では、活動の様子やノートの記述内容から、学習問題に対する**予想**や**学習計画**を立て、**解決の見通し**をもっているかを評価した。

単元導入時に予想や学習計画を立てる場面

【態一①】 単元1「火災から人々の安全を守る」 2/7

《活動の様子やノートの記述内容から》

火事のとき、消防士さんが現場で消火活動をしているのだと思います。その他にも火事から地域を守るために、誰かが何かをしているかもしれないので、今から調べていきたい。教科書で調べたり、消防署の見学をしたりして調べ、火事から地域の安全を守っている人とその働きを明らかにしたいです。

予想

学習計画や見通し

#### 【評価方法】

活動の様子やノートの記述内容から、「火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。

#### 【教師の評価と指導】

○学習問題に対する予想を立てている。  
○学習問題の解決に向けて、見通しをもっている。  
以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。  
\*「努力を要する」状況(C)と判断される児童に対しては、今までの学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

児童が身近な体験などを基にしながら考えられるような発問をしたり、「地域で働く人の学習ではどのように調べたかな」といった声かけをすることで、前の単元での学習を振り返り、見通しをもつきっかけとすることも考えられます。

児童にどのような姿が見られたら「おおむね満足できる」状況(B)と判断できるかを、教員があらかじめイメージしておく必要があります。

「努力を要する」状況(C)」と判断される児童に対しての手立ても考えておく必要があります。



## 主体的に問題解決しようとする態度の評価場面例②（単元2の1/8時間目）

② 学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考える。

児童が学習状況を確認し、さらに調べるべきことを考える場面の評価事例である。第1は、単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面である。ここでは、単元1の学習状況を確認し、その学習を生かして、単元2でさらに調べるべきことを考えようとしているかを評価した。

単元1の学習を振り返り、単元2の予想や学習計画を立てる場面

【態一①】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 1/8

《発言の内容やノートの記述内容から》

火災の時は、だれが、どこで、どのような働きをしているかという視点で、教科書や見学を通して調べて解決したよ。事故や事件も、地域の安全を守るための働きを同じ視点で見たいと思う。きっと、警察や地域の人など様々な人の働きがあると思う。また、教科書や見学を通して問いを解決していきたい。

【評価方法】

発言の内容やノートの記述内容から、「単元1で立てた追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。

【教師の評価と指導】

- 「火事の際は…」や「同じ視点で…」などの記述から、前単元の学習状況を振り返っている。
  - さらに調べるべきことを考え、学習問題の予想や学習計画を立てている。
- 以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。  
\*「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、前単元の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりするよう指導した。

単元1と同様、「おおむね満足できる」状況(B)の児童の姿や、「努力を要する」状況(C)と判断される児童への手立てを考えます。

前単元の学習状況を振り返る記述がみられる

学んだことを今後に活かそうとしたり、さらに調べるべきことを考えようとしている

## 主体的に問題解決しようとする態度の評価場面例③（単元2の7/8時間目）

第2は、単元2の終末でさらに調べるべきことを考える場面である。本事例では、消防と警察の働きを学習した上で、「自分たちは何ができるだろう」というさらに調べるべき課題を見いだそうとする姿を評価した。

### 単元2の終末でさらに調べるべきことを考える場面

#### 【態－①】 単元2「事故や事件から人々の安全を守る」 7/8

「学習を振り返ったり見直したりして」については、特定の型に沿った学習の進め方を一律に指導することを求めているものではないことや、知識・技能や思考・判断・表現の観点が十分満足できるものであれば、個々の学習の進め方を認め、そのまま学習を進められるようにすることに留意しましょう。

これまでの学習を振り返る記述がみられる

《発言の内容やノートの記述内容から》  
今まで地域の安全を守るために誰が、どこで、何をしているかを調べてきた。地域の安全を守るために、多くの人が毎日、工夫や努力をしてくれている。自分たちは多くの人に守られているが、地域の安全をもっと守るためには、自分たちにもできることがあるのではないだろうか。次はその問題を解決したい。

さらに調べるべき課題を見出している

#### 【評価方法】

発言内容やノートの記述内容から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。

#### 【教師の評価と指導】

- 今までの二つの単元の学習状況を振り返っている。
- さらに調べるべき課題を見いだしている。

以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。  
 ＊「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、「この人たちの働きだけで安全は守られる？」と問い、自分たちができることを考えられるよう指導した。

# よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度の評価場面例 (単元2の8/8時間目)

【態一②】の「学習したことを基に地域や自分自身を事故や事件から守るために自分たちができることを考えようとしている」では、学習問題を解決する過程で得たことを根拠によりよい社会の実現に向けて考えようとする態度を評価する。

「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」

【態一②】 単元2 「事故や事件から人々の安全を守る」 8/8

「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」の評価は、すべての単元において指導と評価の計画に位置付けるのではなく、学習指導要領の「内容の取扱い」に「社会への関わり方を選択・判断する」、「多角的に考える」ことが示されている内容に関連する単元で設定することが考えられます。(次ページ参照)

学習したことを基に、地域の一員として自分ができていることを考えていることが記述から読み取れる

《活動の様子やノートの記述内容から》  
火事や事件、事故から地域の安全を守るために、多くの方が予防や対処に努めていた。地域の安全を守るために、私も地域の一員として、地域で開催されている避難訓練に積極的に参加したい。また、火事や事故を起こさないように、火の扱いに注意したり、交通ルールを守ったりしたい。

【評価方法】  
安全宣言の記述内容から「学習したことを基に安全を守るためにできることを考えようとしているか」を評価する。

指導・評価をする際には、児童に拙速な社会参画を促すこと、学習したことを根拠にしない独りよがりな考えをもつことを求めるものではないことに留意しましょう。

【教師の評価と指導】  
○学習したことを基に考えている。  
○地域の一員として自分ができていることを考えている。  
以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。  
\*「努力を要する」状況(C)と判断される児童には、友達との対話を通して、気が付くように支援した。

- ・書くことが苦手な児童には、「火事の時はどのように調べた？」など、対話の中で振り返りを促しましょう。
- ・「疑問に思ったことは?」「もっと深く知りたいと思ったことは?」など、児童の状況に応じて声かけの仕方を工夫しましょう。

# よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度の評価場面

【態一②】を積極的に評価し、指導に生かす内容

学年	内容のまとめり		内容の取扱い
第3学年	(3)	<u>「地域の安全を守る働き」</u>	<u>選択・判断</u>
	(4)	<u>「市の様子の移り変わり」</u>	<u>発展</u>
第4学年	(2)	<u>「人々の健康や生活環境を支える事業」</u>	<u>選択・判断</u>
	(3)	<u>「自然災害から人々を守る活動」</u>	<u>選択・判断</u>
	(4)	<u>「県内の伝統や文化, 先人の働き」</u>	<u>選択・判断</u>
第5学年	(2)	<u>「我が国の農業や水産業における食料生産」</u>	<u>多角的</u>
	(3)	<u>「我が国の工業生産」</u>	<u>多角的</u>
	(4)	<u>「我が国の産業と情報との関わり」</u>	<u>多角的</u>
	(5)	<u>「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」</u>	<u>選択・判断</u>
第6学年	(1)	<u>「我が国の政治の働き」</u>	<u>多角的</u>
	(3)	<u>「グローバル化する世界と日本の役割」</u>	<u>多角的, 選択・判断</u>

「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」の評価場面は、表のとおり、学習指導要領の「内容の取扱い」に「社会への関わり方を選択・判断する」、「多角的に考える」ことが示されている内容に関連する単元で設定することが考えられます。

## 【多様な評価方法で見取る】

評価においては、ノートの記事内容やレポート、授業中の発言、教師による行動観察や児童による自己評価や相互評価等の状況など、多様な評価方法をとることが大切です。

また、主体的に学習に取り組む態度と知識・技能の習得、思考・判断・表現のつながりを意識し、他の観点の学習状況と照らし合わせながら、児童の問題解決への主体的な関わりを評価し、指導改善を図ることが重要です。